

## 令和2年度 事業者向け 児童発達支援事業自己評価表

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	利用者に合わせ、スタッフ同士で相談して活動場所を使い分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	適切であるが、朝夕の送迎時間帯はスタッフ数名が不在になる分、受け入れと送り出しを行うスタッフ、非常勤スタッフも含めて全員と情報を共有し、対応を統一することで安全で適切に動けるようにしていきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2階の活動スペースに上がる際に階段を使用するため、細心の注意を払う必要がある。室内では利用者に合わせ、座位保持椅子やクッションチェアなどを使用している。また、必要に応じてタオルやU字クッションなどを使用して利用者の姿勢を検討している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日利用者個人の記録や様子を振り返り、ミーティングを行って業務日報を作成している。ミーティングに参加できなかったスタッフは、後日業務日報を確認することで情報共有をしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者向け評価表を集計し、とりまとめたものをスタッフ間で共有している。また、送迎の際など保護者と顔を合わせたときに話した内容はその日のうちにスタッフ間で共有し、改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで閲覧できるようにしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	今後、第三者評価を取り入れるか検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	事業所内外で研修機会を設けている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	新規契約の際にアセスメントシート等を作成している。聞き取りをした個々のニーズや将来への見通しを基に、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	法人独自の様式を使用し、必要な支援が何か検討している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	日々のミーティングだけでなく、スタッフ全員参加のミーティングを月に1度行い、チームで活動の検討をしている。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	個人の成長や発達の変化に合わせて活動を検討している。日々のミーティング時間での振り返りと合わせて、次回の活動についても共有していきたい。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	土日祝日、お盆、年末年始は休業している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	個人の成長、発達や家庭の環境なども鑑みて児童発達支援計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎朝ミーティングを行い、活動や支援内容や役割分担を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日ミーティングを行って利用者の様子を振り返り、業務日報を作成してスタッフ間で共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	一人一人の目標に対しての結果を記録するようにしている。その記録をもとに、支援の検証や改善を行っている。
		⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか
⑲		ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	基本活動から個人に合わせて応用した活動も行っているが、さらに活動の幅を広げていきたい。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	会議が開かれる場合は管理者が参加している。電話やメールでの聞き取りの際にも、管理者が回答している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	事業所の嘱託医とは連絡が取れる体制を取っている。主治医とは看護師指示書を通して指示をいただいている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	

関係機関や保護者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	必要な情報の共有、連携を行っている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	今年度は事業所外との交流がなかったため、今後は状況に合わせ、交流を持てる機会を検討していきたい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	参加している。今後、よりよい方法で参加を続けていけるよう検討していきたい。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳でのやり取りだけでなく、送り迎えの際にも情報共有を行っているが、わかりやすく丁寧な伝え方をスタッフ全員ができるようにしていきたい。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	支援内容を家族にも伝え、自宅でもできることを検討している。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	見学時や契約時に丁寧に説明するようにしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	必要に応じて相談に乗りながら、助言等支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者同士のつながりを支援することはできなかった。今後、よりよい方法で支援をしていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	家族からの意見は、職員間で共有して改善に努めている。苦情があった際は、まずは誠意を持って謝罪している。苦情内容を職員間で共有して迅速に改善策を検討し、対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	お知らせや活動報告を掲載したお便りを毎月発行している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	十分注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	利用者や保護者に合わせ、言葉の選び方、伝え方を配慮している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	今後検討していきたい。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	スタッフに対しては周知しているが、保護者に対して全ては周知できていない。周知していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	災害時のマニュアルを作成し、月1回避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	職員への周知と積極的な研修の参加を促していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	現在のところ未実施ではあるが、必要に応じて丁寧に説明し、計画に記載し、同意いただくように努める。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	必要に応じて個別に対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	業務日報や記録を活用し、ミーティングで事故防止について共有を行っている。ミーティングに参加できなかったスタッフは後日記録を確認し、全員が情報の共有ができるようにしている。